

(第9号様式)

## 令和4年度第1回香川公民館運営審議会会議録

議 題	令和4年度第1回香川公民館運営審議会会議次第 議 題 1 令和4年度香川公民館事業報告について 2 諮問について 3 その他
日 時	令和4年8月3日(火) 14時～16時10分
場 所	香川公民館2階 和室
出席者氏名	澤崎貴子委員、中村洋美委員、真鍋花代子委員、佐藤節子委員、 都浩一委員 事務局 担当課長 鈴木 朗、主査 田中 裕子
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人
非公開の理由	

### ○事務局

これより令和4年度第1回香川公民館運営審議会を開催させていただきます。

はじめに、お手元にお配りしております資料の確認をさせていただきます。

令和4年度第1回香川公民館運営審議会会議次第、資料1「令和4年度香川公民館事業報告」、資料2「茅ヶ崎市立香川公民館運営審議会に対する諮問について」、資料3「香川公民館運営審議会に対する諮問に係る答申スケジュール(案)」、参考資料「香川公民館利用団体・サークル活動に係るアンケート調査について」以上、不足等はございませんでしょうか。

それでは、さっそく議題に入りたいと思います。

議事進行につきましては、茅ヶ崎市立公館条例施行規則第13条第1項に会議は会長が招集し議長となるという規定がございますが、松尾会長から都合により欠席との報告を受けております。公民館条例施行規則第12条第3項において、副会長が会長の職務を代理する旨の規定により、本日の議長は、佐藤節子さんをお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○佐藤委員

みなさんこんにちは、本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

ただ今より令和4年度第1回香川公民館運営審議会を開催いたします。本日、松尾会長と豊嶋委員が都合により欠席でございますが、茅ヶ崎市立公民館条例施行規則第13条第2項の開催要件、過半数以上の委員、7名のうち5名の御出席をいただいて満たしておりますので会議は成立していることを御報告いたします。

なお、本日、傍聴の申し出はございません。

それでは次第にしたがいまして議事を進めてまいります。

なお、本会議は公開となっており、会議終了後、会議の概要を2日以内、会議録を45日以内に公表することとなっています。議事録の内容確認につきましては、私に一任ということによろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○佐藤委員

それでは議題1、「令和4年度香川公民館事業報告について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

○事務局

それでは「令和4年度香川公民館事業報告について」ということで、資料1をお出しください。7月末日時点までの主催事業とそれ以外の取り組みを資料としてお配りしています。この他にも連続して行っている講座もございますが、現在継続していますので、完了してからの報告となります。

それでは、カテゴリーごとにご説明させていただきます。

1の子ども事業です。二つ上げさせていただいています。海岸生物観察会と子ども陶芸教室です。こちらは、つい最近行った事業です。海岸生物観察会は先週の木曜日に江ノ島の岩場で行いました。親子8組延べ16名の方に参加いただいて、江ノ島の岩場に生息している生き物を観察して学んでいただくという講座でした。講師はNPO法人パパラギ海と自然の教室にご協力いただきました。アンケートでは参加者全員が楽しかったと回答していただき、またビーチクリーン活動等に参加してみたいか聞いてみたところ3/4(75%)の方から参加してみたいとの回答をいただきました。

○佐藤委員

これは、何時から何時までだったのですか。

○事務局

10時から12時30まで、午前中ですね。

次に子ども陶芸教室です。これは市民提案事業ということで、公民館利用者からご提案をいただいた事業です。7月30日ですので、つい最近です。土曜日に行いました。お子様14名に参加していただきました。今回は、粘土で形を作り釉薬を選ぶところまでをやっていたけど、その後の作業は講師の方をお願いをして、今月21日以降に出来上がった作品を参加者にお渡しして、完了となります。実は他の公民館でも、陶芸教室を行っています。香川では行っていなかったんですね。昔は行っていたのかもしれないのですが。

○佐藤委員

夏休み自由広場でやっていますね。

○事務局

子どものサークル体験ですね。

○佐藤委員

夏休み自由広場があるので、このように主催事業としては行っていなかったですね。今年は夏休み自由広場がありませんので、市民提案事業という形で行ったのでしょうか。私も、こもれび通信（館報）の取材で参加しましたが、子ども14人は結構大変だなと思いました。子どもを連れてくるお父さん、お母さんにはお帰りいただき、大人は手を出さずに子どもだけで頑張る形で行っていました。

○事務局

子ども事業は、以上の2つです。

次に、2のシニア事業です。Android スマートフォンを楽しもう、こちらは今年の3月に年度で言いますと令和3年度になりますが、実施する予定でした。3月は新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用されていたので、5月に延期をして20日に開催いたしました。定員10名のところ、キャンセルがありまして8名の方にご参加いただきました。コロナ禍でICT（情報通信技術）の活用が急速に発展している中で、公民館5館の連携事業でZoomの使い方講座は行っているんですけども、スマートフォンに焦点を当てて、タッチ操作、文字入力からインターネットやアプリ等使い慣れていない高齢者を対象に行いました。アンケートでは、概ね満足している人が多い中、時間が足りないとの声もありましたが、やって良かったと思う講座でした。

○佐藤委員

担当してくださった講師 NPO 法人パソコンボランティア湘南からは、何人くらい来てくださったのですか。子どもとは違った大変さがあると思うのですが。

○事務局

アシスタントが2名入りましたので、講師とアシスタントで3名です。

続いて4番目が、正しい靴の選び方講座です。昨年度は子どもの正しい靴の選び方講座を

行い、今回は一般成人を対象として行いました。佐藤委員にも、ご参加いただきましたね。講師はマスターオブシューフィッターという資格を持つ宮崎さんと言う方です。この方は藤沢市内で靴のお店を営んでいる方です。自分の足に見合った靴を履いていない方が多いということで、足の計測をして、その足に見合った靴を履くことで歩幅や歩き方に変化があったことを実感してもらうことを目的として実施した講座でございます。

○佐藤委員

ちょっとトラブルがありましたので、進め方が難しい講座だったかなと思います。

○事務局

次に、カテゴリー3の地域課題解決等事業です。ふわふわモコモコ布ぞうりづくり、毎年継続して行っている人気が高い講座です。古い浴衣を材料にして、布ぞうりを作る。目的がリサイクル意識の向上だったり、日本文化継承ということでずっと実施しています。5月15日(日)と5月22日(日)、2週に分けて行いました。実際に参加した方が、講師の補助(アシスタント)的な立場として参加したいと言ってくれた方が5名いらっしゃったので、その方々向けのフォローアップの研修も行いました。

次が6番目、かがわ健康ウォーク「東海岸文化人たちのいにしえ道を歩く」ということです。こちらも毎年行っています。ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会にご協力いただき、2回に渡り5月20日はイサムノグチさんについての座学、6月3日は南側ですが城山三郎の散歩道や開高健ゆかり道等を約6km実際のウォーキングを、5月と6月にかけて行いました。

続いて7番目です。青少年の考古学入門下寺尾に眠る遺跡、こちらもつい最近です。ご存知かと思いますが、7月30日に博物館がオープンいたしました。オープン初日と二日目はかなりの方が来館されたと聞いています。社会教育課との博物館連携講座という位置づけで、5月28日に実施させていただきました。参加者はここに書いてありますとおり、対象は小中学生でしたが、参加者は全員小学生でした。小学生でも中学年、低学年の方が意外と多かったですね。話の内容は遺跡に関することが主だったので、社会教育課の職員が当日パワーポイント資料を使って、分かりやすくスライドを出したりするんですけども、漫画チックなイラストで、子どもたちが興味を示してくれるようなものを映したり、説明したり、発掘調査するための道具を見せたりというところで、講師も色々と工夫しながら、皆さんの興味・関心を高められるように講座を開催いたしました。後半は、低学年の子どもたちの集中力が切れてしまいましたが、時間が長かったので、それは仕方ないかなと思いました。

○佐藤委員

参加者は、男の子と女の子どちらが多かったのですか。

○事務局

男の子が多かったです。

○事務局

次は資料の裏面になります。8の一眼レフ初心者女性向けカメラレッスンです。こちらは、香川公民館の社会教育嘱託員が講師を務めています。6月3日、10日、17日の3回に分けての講座を行いました。1回目は座学、2回目は小出川の遊歩道で紫陽花を撮影して、3回目に撮影した写真を持ち寄っての講評会ということを行いました。反省点として、撮影会に行った折に紫陽花しかなかったため少し単調になってしまったという話を聞きました。カメラの技術の習得もそうですが、参加者同士の交流というところで親交が深められたという話を聞いています。

次は9番目です。庭木の剪定教室です。こちらも、コロナ禍を除き、継続して行ってきた人気の高い講座です。見てお分かりいただけるとおり、定員15名に対して参加者15名ということで、梅雨時の6月12日に、ほぼ一日かけての開催でした。前半は座学的なことを行い、後半の部分では公民館の敷地にある庭木を使って、剪定技術を参加者に学んでいただいたという講座です。

次に10番目の応急手当WEB講習対応実技救命講習会です。主体となっているのは、消防署消防指導課というところです。毎年、普通救命講習会を公民館で開催してきたところなんですけれども、コロナ禍における感染対策ということで、普通救命講習の座学をインターネットで受講した後の1か月以内に実技講習会を受講すれば普通救命講習会を修了したものと認定されるという内容で、7月16日に香川公民館で心肺蘇生法、AED使用方法、止血法、気道異物の除去方法を8名の方に学んでいただき、最後に修了証をお渡ししました。

続きまして、11番目がフォトジェニックな旅のお話し会～イタリア編～です。昨年度は、フランス編を実施いたしました。イタリア編も令和3年度に実施する予定でしたが、コロナの影響によって令和3年度は中止となり、7月23日に実施させていただきました。6名に参加していただき、実際にイタリアへ行った方、イタリアには行っていないが興味をお持ちの方にご参加いただきました。ツアーコンダクターの方に、その国の魅力ですとか、生情報ですとか、体験だとかをお話をしていただいたところでございます。フランス編の時は、その国に行った時の昔の写真を持ち寄っていただいて、色々話に花を咲かせた時間があったんですけれども、今回は講師のお話が長くなってしまったため、参加者同士が交流する時間が取れなかったところが課題というふうに聞いています。

続きまして最後の12番目ですね、初めてのジャイロキネシスです。ジャイロキネシスってあまり聞いたことがないかと思います。こちらの概要欄に書かせていただきましたが、バレエダンサーのケガのリハビリ目的にニューヨークで開発されたエクササイズらしいです。こちら令和3年度に行う予定が中止になり、今回改めて7月30日に実施させていただきました。アンケートでは、参加者の多くが内容を理解した上で動くことができたということ、今後自宅でもやってみたいとの回答をいただきました。

ざっとご説明させていただきました主催事業はすべて対面式の講座でございました。先程申し上げたとおり、連続講座で、継続中の講座もございます。講座によっては、Zoomで

行っている講座もあります。ただ、今年度の計画では概ね対面の方が圧倒的に多い状況です。皆様ご承知のとおり、今、コロナウイルスの新規感染者が凄い人数なんですけれども、換気を行ったり、あとは消毒でしたり、基本的な対策を行いながら、事業の方は継続して行っていく予定です。

講座ではないのですけれども、学習成果活用・学習情報提供事業ということで、公民館日より「かがわ」は、四半期ごとに出している主催事業の周知用のチラシです。今年度については、4月1日号、7月1日号の2回発行しています。予定では10月1号と1月1日号で年4回発行する予定です。

続いて、5の次世代育成ネットワーク事業ということで、小学校公民館見学でございます。学区探検の時間を活用して、公民館と図書館分館を見学していただくということで、6月17日香川小学校3年生の全児童、6月24日鶴が台小学校の3年生の全児童。資料の右端成果・課題のところ、香川が159名、鶴が台が61名ということで見学に来てもらいました。3年生はとにかく元気ですね。質問が止まらなかったというのと、色々興味津々で聞きたいことがあるということで。ただ、凄くわきまえられていて、当日は当然ながら各部屋でサークル活動している方がいらっしゃったのですが、その様子を外から眺めてもらったり部屋の中に入って見てもらったりしたのですが、部屋の中に入った時にはきちんと静かにして、ルールを守って見学されていました。

最後に、参考で5館連携事業です。こちらは令和3年度から継続して行っている事業でございます。県立里山公園で里山謎解き大冒険という事業を実施させていただきました。5月7日のゴールデンウィークの土曜日に県立里山公園を舞台に謎解き、宝探し、自然観察を交えたオリエンテーリングを実施させていただき、27名の参加者でした。ざっとですが、事業の説明をさせていただきました。1の議題は以上です。

○佐藤委員

現在実施しているものもあるとのことでしたが、この資料には載っていないということでしょうか。

○事務局

載っていません。最終的に数字が固まって、通した結果を最後にご報告します。本日の資料には、完結している事業を載せています。

○佐藤委員

小学校公民館見学では、沢山質問を受けられたとのことですが、どのような質問が多かったのでしょうか。

○事務局

初めは、こちらから投げかけました。例えばですね、ちょうど6月1日から公民館の運用について制限していたものを全面的に解除して、ロビーを使用できるようになったところからお話したんです。そこからなんですけど、不思議なことに子どもたちが色々質問してきました。今の3年生は1年生になられた時にコロナの感染が広がって、公民館は休館

したり、そこからロビーが使用できなくなって、なかなか公民館に来る機会がなかったんですよ。そういった話をしたら、そこから話が発展していった色々な話が出ました。

○佐藤委員

3年生にとってみると、図書館には来ていても公民館には来たことがなかったのでしょうか。

○事務局

それが、逆だったんです。来館したことがあるか聞いたところ、ほとんどの子どもが公民館に来たことがあるとのことでした。どうして来たことがあるのか聞いてみたところ、「講座に参加した」という子どもが結構いました。小学校入る前に来たことがあるという子どももいました。

○佐藤委員・澤崎委員

公民館まつりでしょうか。

○事務局

もちろん、それもあると思います。何かしらの理由で来館したことがある子どもがほとんどでした。そこからにぎやかに、色々な質問が出ました。

○佐藤委員

図書館には来ているのかもしれませんが。

○事務局

そうですね。他に疑問点などございますでしょうか。

○澤崎委員

すみません、正しい靴の選び方の講座なんです。これは、座学というか説明だけだったのでしょうか。どのような内容だったのでしょうか。

○佐藤委員

私も申し込んで参加したんです。15名募集のところ全員で11名の参加だったんです。そのうちの5名だけ前もって足を計測していただいて、当日は計測した足に見合った靴を持ってきてくださると同時に、その人の足の型を例としてプロジェクターに映して、説明して下さったんです。私も事前に申し込んで、計測していただいて、「この靴が良いですよ」という靴を持ってきていただいて説明を受けたんです。講座の目的としては靴の大切さを理解してもらうために、自分に合った靴を履いていないことによる弊害についてお話して下さったと思います。先程言ったトラブルというのは、計測してもらった5名にとっては自分の足を映されて嬉しいような恥ずかしいような気持ちもありつつ楽しいのですが、計測してもらっていない方にとっては時間が長かったのか、その部分については不満に思われたのかもしれませんが。

○事務局

次回開催する場合は、事前の計測については人数を絞って行おうと思っています。

○佐藤委員

一般的なお話を前に持ってきて、その後に計測した足について説明してもらい、実際足に合わせるの最後にするようにするとか。

○事務局

講座の進め方を考えないといけないですね。

○佐藤委員

私も履かせてもらって、色々お話を聞いたりしたので、長くなってしまっただけで。靴の選び方は大切なことでいい企画だと思いますけれども、話の持っていく方に工夫が必要ではないかと思います。役立つお話も多かったのですが、計測していない方々にはちょっと。

○事務局

少し補足させていただきます。公民館の意図としては、皆さんに説明するにあたって、足の色々なタイプを限られた人数になってしまっていますが、事前計測という形で見本として足型をご提供いただきました。当日、講師が説明を加えた上で、合っていない靴を履くことの弊害と実際に合った靴を履いてもらった時の感想などを直に伺って、「こんなに変わるんだ」ということを皆様に説明するために、講座の資料として、皆さんにご披露する意図で準備をしていたのですけれども。進行にあたり少々問題が発生しまして、トラブルと言いますか、不満を抱くようなご意見をいただきましたので、そこは今後進め方を検討していきたいと思うところですが、皆様に分かりやすく、合った靴を履くことの大切さをいかに伝えるかを考えて準備をしたものだとは担当者は申しておりましたので、お話をさせていただきました。

○澤崎委員

ありがとうございました。

○真鍋委員

今、事業報告を聞いて「香川公民館では、色々な講座をやっているのね。」と近所の方にも聞かれたり言ったりしているのですが、色々な事業を行う中で、どのように募集して、どのような方を対象としているのですか。

○事務局

募集については、他の公民館にも共通していると思いますが、まず広報ちがさきに掲載します。ただ、広報紙の作りも昔とは変わっており、現在は必要最小限の記事になっています。事業名と開催日時を広報紙には載せてはいただきますけれども、その他にも色々な媒体があります。市のホームページ、館内に講座のチラシを掲示したり、他の公共施設へチラシの配布を依頼したり、各々のカテゴリーに登録されている方が対象となりますがメールの機能を使用した配信をさせていただいている、そういったものも活用しています。あとは講座の内容によっては、タウンニュース社に掲載を依頼することもあります。それから、自治会の回覧です。昔はよく依頼していて、コロナ禍では控えるようになってしまっていて。他の公民館では、再開しておられて、香川は出遅れた感があるのですが、その回覧を見



て事業内容を認識していただいているところもあります。

○佐藤委員

広報紙も以前は1日号と15日号があり、15日号に公民館の事業を掲載して、それを楽しみに見て参加してくださる方が多くいらっしゃいました。今年度も15日号は、出ないのですよね。

○事務局

そうですね、1日号だけです。1日号の記事も、本当に最小限の記事になっています。もし足を運んでいただけるようであれば、掲示板やチラシをご覧いただきたいと思います。

○佐藤委員

その辺のPRがなかなか難しいですね。いかに多くの方が広報紙をご覧になっていたかが良くわかりますね。今はコロナ禍で自粛なさっている面もあるのかもしれませんが。

○真鍋委員

分かりました。

○都委員

コロナの話が出ましたけれども、全て対面で行っているとのことですが、今までオンラインでしている中で、対面でやらなければいけないものも多くあるのだとは思いますが、対面の方が良かったというアンケート結果ですとか、もしくは人数は限られますけれども、オンラインと併用してくとか、ハイブリッドにしていくともう少し人数を増やすこともできるとは思いますが、そういった意見が出てきたりしていないのか、もし分かれば教えてくださいなのですが。

○事務局

委員のおっしゃるように、その視点についてもアンケートに入っていれば良いのですが、全ての事業において、そこまでアンケートを取っているわけではありません。主催する側からすると、学ぶという大きな目的があることももちろんですが、来館した参加者同士で交流を深められることもあります。例えば、親子で参加してもらった講座があって、お母さんが小さいお子さんを連れてくる、実はZoomでも行っていた講座なんですけれども、昨年の途中から集合形式に切り替えて、来館していただくようにしました。Zoomでも対話は出来ますが、直接お母さん同士が色々な話をするところを目の当たりにしますと、そういった事業の有効性を実感するところがあります。

また、ハイブリッドという手法で、他の公民館では親子陶芸教室を行っています。講義室に親子20組で40名、Zoomで十数組の参加がありました。来館して直接陶芸を習いたい方とZoomであっても習いたい方がいる、それだけニーズが高い講座だということが分かります。そうであれば、コロナ禍で参加人数を絞っているところをハイブリッドにすることによって、より多くの参加者を集めることかできるメリットがありますので、これから講座を行うのにあたっては工夫をしていく必要があると思います。現在、コロナ禍による利用者の人数制限はしていませんが、企画する担当職員もまだ多くの参加人数を設定し

ていませので、多くの人数を設定する際には、対面と組み合わせるというやり方を考えていかなければならないと思います。コロナの感染者数もしばらくは増減が続くと思いますので、今後はそういったところも視野に入れて組み立てていかないといけないと思います。

○澤崎委員

今おっしゃっていた他館の陶芸教室に Zoom で参加された方々には、事前に材料をお渡ししたのでしょうか。

○事務局

詳細は確認しておりませんが、そうだと思います。事前に材料をお渡ししていると思います。

○澤崎委員

自宅で作成して、また館に持っていったのでしょうか。

○事務局

詳細は確認しておりませんが、おそらくそういったやり方かと思います。Zoom では、画面越しで作り方を習って。Zoom での参加者は15～16名いらっしゃったと聞いています。

○佐藤委員

対面でも結構難しいですけどね。

○澤崎委員

でも、自宅ですと色々材料もあって楽しいかもしれませんね。

○佐藤委員

香川で行った陶芸教室では、粘土を400g用意して、参加費として1,000円頂戴しているんですね。それでも、それは粘土代くらいらしいですね。講師とアシスタントの方々3名にはボランティアで参加していただいて。成形して、成形するところも子どもたちと一緒にアシスタントの方々も手伝って、子どもたちは釉薬を選ぶところまででしたけれども、その後の工程は講師がやってくれるそうで、それがとても大変だそうです。それをインターネットでどこまで行えるのか、お聞きしてみたいですね。

○事務局

陶芸は工程が沢山ありまして、一日ではとても終わらないんですね。今回行った成形してから素焼きをして乾燥させてから、釉薬をかけて本焼きします。乾燥させる時間を含めて釉薬をかけるところまでを体験してもらおうとなると2回以上の講座になるということで講師とご相談して、今回は形を作って釉薬を選ぶところまでになりました。なるべく多くのことにチャレンジしてもらおうということで、器の選択肢を広げて実施してみたのですが、難しいものを小さなお子様を選んだので、それなりの苦労はありましたが、その後の工程を講師が行うことになり、割に合わない作業が残ってしまいましたので、今後行うにあたっては、内容をもう少し細かく相談させていただきたいと思います。ただ、参加された子どもたちは、とても楽しかったようで、とても喜んでいたので、先生は満足されたようで

す。とにかく、陶芸は工程が多く時間がかかるので、通しで最後まで体験してもらうには何度も館に足を運んでもらわなければならないので、やれるならやってみたいところではありますが、実際は難しいということでこのような形で行いました。

○佐藤委員

粘土も、作業している間に乾燥してどんどん固くなってしまいうんですよね。その時間との闘いもありますし。お手伝いしてくださる方もある程度必要になりますよね。Zoomでどのようにやったのかお聞きしてみたい気持ちもありますね。

○事務局

作るもの等色々工夫されているのかもしれないね。

○澤崎委員

今年は夏休み自由広場がありませんでしたので、陶芸教室があって良かったと思います。

○佐藤委員

都委員からお話があったハイブリッドでの開催も考えていくということでしょうか。

○事務局

そうですね、講座によっては有効的な部分がありますので。

○佐藤委員

参加者数を増やすことができる場所はそうですね。講座の内容によるとは思いますが、それでも。それから、ふわふわモコモコ布ぞうりづくりですけれども、講師補助の希望者がいらっしまったことは、とても良いことだと思います。今回は出ていませんが、お正月のしめ飾りづくりも、習った方達が講師の補助として何人か出ていますよね。そういったところは、とても良い形ではないかと思います。ただ、布ぞうりのこの最後の部分ですが、関心度が低かったというのは布ぞうりに対してということでしょうか。

○事務局

こちらは、アンケートの項目にある布ぞうりづくりを伝えていくことへの興味、関心度が低かったという結果だったということです。

○佐藤委員

この講座は、結構人気がある講座ですよ。すぐに定員に達する傾向がありますよね。伝えていくことへの興味、関心度ということでしょうか。

○事務局

アンケートの中では、次世代へ布ぞうりづくりを伝えていく活動に興味があるかを聞いています。

○澤崎委員

自分が講師になって伝えていくのではなく、今回自分が布ぞうりを作ることで満足しているということでしょうか。

○事務局

質問は、今後次世代へ布ぞうりづくりを伝える活動に興味がありますか、という問い

です。

○澤崎委員

自分が作ったら満足だから、もういいわということですね。

○事務局

その先のことまでは、あまり関心をお持ちではないというところだと思います。

○佐藤委員

広める活動には関心がない。

○事務局

広める活動にも興味を持っていただきたいのですが、そこまではいかないということですね。アンケートでは、そういう結果でした。その反面、講師補助としての活動に興味を持ってくださる方もいらっしゃいました。

○佐藤委員

布ぞうりは、作る際に素足の指にかけるじゃないですか。それが脳にも良い刺激とも言われていますよね。作った方は実際に履いてみて、周囲の方にその良さを話していただくだけでも良いと思いますね。材料費 1,000 円で二足作ることができるんですね。一足目は加減が難しいようですけども。売っているものは高いようですからね。

中村委員は何かご質問等ありませんか、よろしいでしょうか。

○中村委員

大丈夫です。

○佐藤委員

主催事業については、色々ご意見をいただきました。4月から7月までの間で12の事業を行いました。その間連続講座で何回か行っているものもありますが、こちらの資料には記載されていないということですね。コロナが少し落ち着いていた時に少しずつ対面の講座が増えて、このような活動ができたということが言えるのではないかと思います。

コロナに関しては、国の方針もウィズコロナという方針になっていますし、それに伴って市の方からも今のところは休館するとか、そういった話は出ていないですね。

○事務局

今のところは、出ていません。

○佐藤委員

ウィズコロナの時代に入ったということで、届け出云々に関しても市町村によっては問題はあるようですけども対応も変わってきているようです。各々で気をつけていきましようということで、このように主催事業も活発に行われつつあるという形ですね。

それでは、次の議題にいきたいと思います。

次に議題2、「諮問について」を議題といたします。こちらは香川公民館運営審議会に対しての館長からの諮問ということで、この内容について館長から提案をいただきます。館長よろしくをお願いします。

#### ○事務局

それでは、お手元の資料 2 をご覧ください。令和 3 年度の審議会で事前にご説明させていただきました諮問を今回正式な形で諮問させていただきます。検討を要する事項は公民館利用サークルの活性化にむけた公民館の果たすべき役割についてでございます。理由については、皆様ご一読いただきましたので、要点を説明させていただきます。

開館して 33 年が経過します。その間多くのサークルが誕生して、色々と公民館運営にご協力していただけてきたというところがございます。活発な活動でしたので、それも地域の活性化の一翼を担っていたところではあるんですけども、サークルが 33 年経過する中で、ライフスタイルの変化ですとか、少子高齢化もそうですが、環境が大きく変化しており、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響もあったというところで、サークル活動自体の休止や解散、会員の退会等による諸々の要因で、少し元気がなくなってきているところが見受けられます。これは、今後の公民館運営にとっても非常に大きな影響を及ぼすものと考えております。

そういったところから、再び以前のように活気溢れる活動をしていただくサークルに戻ってほしい、そのためには公民館として、どのようなことができるのかを検討していただきたいというところで、今回諮問させていただき、こういった内容にさせていただきました。

答申ということで、令和 5 年 3 月年度末までの希望日を添えて諮問という形にさせていただきます。

#### ○佐藤委員

只今、館長の方からご説明がありましたが、今年度の諮問としては、公民館利用サークルの活性化に向けた公民館の果たすべき役割についてということでした。館長から理由の要点についてご説明がありました。開館して 33 年が経過しております。サークル活動においては開館の翌年くらいから始められたサークルもあります。現在も活動しているサークルも多々ございますが、残念なことに、日本中が少子高齢化、市内で五本の指に入るくらい湘北地区では高齢化が進んでおります。私が長らく利用者懇談会の役員を務めさせていただき中では感じていますが、利用者懇談会に加入しているサークルが 76 サークル、利用者懇談会に加入していないサークルや団体もありまして、コロナ禍の影響で自治会館が閉鎖していて使用できず一時的に利用しているサークルや団体、それから新たに若い方が中心となって活動しているヨガサークルがいくつか、利用者懇談会には加入していないで活動しています。そういった加入していない団体が 23 くらいあります。数年前まで利用者懇談会加入団体は 100 くらいありました。それが急速に減ってしまったわけですね。昨年度一年間で 10 くらいのサークルが活動を止めてしまっている。その理由といたしまして、やはり高齢化というのが否めない理由になっています。平均的に見ますと、76 サークルの平均年齢が大体 70 代の中盤あたりではないかと思われるんですね。やはり、最初の頃にできたサークルも 50 代ではじめても 30 年以上経ちますと 80 代になる

わけなんです。そうやってきますと、仲間が病気になったり、自身は元気でも家庭の事情でお止めになるといった傾向が見られます。それで会員数が減り、サークル自体がだんだん3～4名となって、活動しづらくなってしまふことがあるようです。コロナの影響による閉館や、個人的に活動を自粛される方もいらっしゃいました。それは、個人の意見を尊重するほかありませんでした。私は現在3つのサークルを立ち上げて活動しています。多いところでカントリーダンスというところに現在23名の会員がいるんですけども、コロナの関係で自粛する人が5～6名はいます。この関係で活動が少なめでということがあります。私たちの年齢はフレイルと言って、どこが悪いというわけではないので医者に行くほどではないのですが、倦怠感といいますか、体力・気力が落ちてしまうことがあります。それを予防する上でも、私たちのサークルは頑張っ活動しようよという話になっています。公民館の利用サークルとしての活動の活性化に向けた公民館の果たすべき役割ということですので、実際にサークルとしては、こういった数と傾向があるということをやつくりとお話させていただきました。中村委員、澤崎委員は推進協から出ていただいていますけれども、推進協においては、いかがですか。子どもさんたちの様子などはどうですか。先程、学校においては小学校3年生が来館されたということですが、子どもたちの間で公民館の話題は出たりしていますか。

○澤崎委員

鶴が台中学校なので、応援丸の話題は出ます。今、鶴が台中学校は本当にICT（情報通信技術）を頑張っやっております。校長先生が学校のホームページに通知なども載せていて、そこに応援丸のことも載せてくださったりして、ホームページから申し込みができるような形で。公民館に来る子は来ているんですけども、うちの子に聞いてみると、とにかく部活が忙しいと。応援丸にしても塾の時間と重なっしまっいて、時間が合わないから行かないと言っていました。ですから、公民館に行く子は行きますけれども、行かない子は全く行かない感じなのかなと。コロナもあつて、公民館まつりもなく、お手伝いに来ることもなかったんで、中学校に入つてからは余計に疎遠になつてる感じはします。

○佐藤委員

今、応援丸には何人くらい来ているのですか。先生も手伝っくださるのですか。

○事務局

毎週木曜日の19時に、先生方は少し前に来ています。ばらつきがあるんですけども、試験が近づいてくると多くなり、試験が終わると緩やかになる。でも、来ていますね。校長先生も途中様子を見に来られています。

○佐藤委員

みんな真面目にやつていますね。学習室の開放は部屋だけですよ。

○事務局

部屋だけです。毎日、鶴が台小、香川小、円蔵小、鶴が台中、北陽中、北陵高校の男子

もいましたね。大体はこの辺の小中学校のお子さんが利用しています。

○澤崎委員

大学生の子に聞くと、フリーWi-Fiの環境がないとちょっとねと言われました。

○事務局

Wi-Fiは1階に付いてはいるのですが、フリースポットチガサキというのが。ただ盤石ではないんです。それで6月に国の補助金を活用するため、議会の承認を得て、今後事務室とロビーと講義室と集会室大にWi-Fiのルーターを取り付けて、今よりもWi-Fi環境を良くしようと思います。おそらくこれから業者を決まって、秋くらいに稼働するのではないかと思います。現在は脆弱な部分がありまして、途中で切れてしまったりしますので。今言った部屋にルーターが付けば安定するようになると思います。

○真鍋委員

サークル数が減っているというお話でしたけれども、公民館のお部屋を取るのが大変ですよ。使用料は無料ですか。

○佐藤委員

どこの公民館もそうだと思いますけれども、3か月前の抽選申込は共通ですよ。ですから今月部屋を取ろうとすると3か月前に予約が取れるわけですから、かなり埋まっています可能性はありますね。使用料は無料です。

○真鍋委員

自治会で利用しようと思った時に取れなかったもので。公民館まつりには、本当にお子さんが沢山いらっしゃいますよね、それで公民館に来たことがあるのかなと思いました。今年度の公民館まつりは、規模を縮小して行うと聞きましたが、日にちは決まっていますよね。

○事務局

日にちは決まっています。おそらく年度末の頃になると思います。年内の開催は難しいと思います。

○佐藤委員

今、実行委員を募っている段階で、これから話し合っ決めていくことになりますが、コロナのこともありますから、飲食は難しいですよ。

○事務局

そうですね。

続いて、資料3です。

審議会の回数は通常2回開催のところ、諮問の年は年3回までなので。3回分までは報酬は支払われます。限られた時間の中で答申していかなければならないわけですが、審議会としての答申を作成するにあたって、参考資料を付けさせていただいたんですけれども。アンケート調査で、きっちりとどれくらいの年数、年齢層などの現状の把握と、どのようなことを各サークルさんが考えていらっしゃって、公民館に対してどのような要望がある

かとか、14項目を案として出させていただきました。これを基に利用者の声を聞いて、集計したものを皆様に見ていただいた上で答申の参考にしていただけたらなと考えております。もう一つは、直近4回分の答申もお配りさせていただいています。この資料の中にヒントめいたものがいくつかあるのではないかと思います。公民館としてこうしたらもつとサークルの活性化が図られるのではないかとこのところもあります。そういったものを基に、例えばですけれども、まとめ方の一つとして、平成26年度の答申をご覧ください。地域に開かれた公民館の在り方についてというのがあります。当然のことながら、その年度の委員さんごとにまとめ方は異なります。平成26年度にもアンケートらしきことを行っているんですね。それを踏まえて、各委員からの提言という形で意見を述べています。最後に会長が結びということで総括しているんですね。あくまでも一つの案です。

○佐藤委員

館の方から、答申案としてご提案がありました。本日が審議会の第1回ですね、第2回と第3回でまとめてくださいと。まとまらない場合は手弁当で集まってまとめてくださいということですね。

今年度、公民館と利用者懇談会の共催事業として「大人サークル体験」を10月から2月に予定しています。それも活性化の一つとして行います。この事業も諮問の内容と関りがあると思いますので、それもサークルにアンケートを取ったり、関わりのある学習会が担当するんですけれども、そこでの話し合いなども行われる予定ですので、提言の中に入れられたらと思います。

夏休み自由広場で子どものサークル体験を行っているんですけれども、今年はできません。それと、大人のサークルが少なくなっているので仲間を増やしたい、それとサークルの活動を皆様にご紹介して認知していただきたいという思いもありまして、そういった事業を企画しております。

○澤崎委員

利用者懇談会に加入しているサークルの体験ということですね。

○佐藤委員

会議で利用している団体を除いたサークルが対象で、31サークルから受け入れの申し込みがありました。そのサークルをカテゴリー別に分けて、これから館内に一覧を掲示しますので、それを見てお申込みいただくという形で、そこから先は受け入れ先のサークルにお任せして進めます。運動サークル、音楽関係サークル、その他にも色々なサークルから受け入れの申し込みをいただきまして、31サークルあります。10月からの募集になりますけれども、どれだけの方が興味を持ってくださるか。館内に掲示してあるサークル紹介をご覧になっている方にお声がけしてみると「興味はあるけど、一人で出来上がっている中に入って行くのは、ちょっとね」とおっしゃる方が結構いらっしゃるんです。ですので、そういった方の背中を押してあげる機会になるのではないかと期待しています。今回の諮問は、公民館の果たすべき役割ですよね。



○事務局

はい、答申を作らなければならないので、例えば作る材料の一つがアンケートで、サークルの現状をこできちんと把握するために、今の状況や問題点がどこにあるのか。

○佐藤委員

館長のお考えで、こういったアンケートを作ってはどうかと。皆さんにゆっくりご覧いただき、ご意見をいただくということによろしいでしょうか。

○事務局

こちらは、案として作成したものですので、委員の皆様には1週間以内にご意見を寄せていただければと思います。それからアンケートを実施して、その結果を取りまとめたものを各委員へお送りしたいと思います。その結果を参考にしつつ、お配りした答申の内容もご覧いただきながら、意見を作っていただきたいと思っています。その意見を第2回の審議会の前に集約したいと思います。そこで第2回の審議会の日程を11月の終わりか、1月の終わりに設定させていただきたいと思っています。お一人お一人の意見をそれまでに事務局に送っていただき、会長と副会長に見てもらい、どのような形でまとめるかを決めていただき、第2回審議会でまとめ方を提案していただきます。形ができるのは第3回の審議会、3月になりますね。3回で完成させるスキームになります。いかがでしょうか。

サークルへのアンケート結果をお手元にお届けできるのは、10月半ばになると思いますが、各委員からご意見をいただく際の参考にしていただければと思います。

○佐藤委員

本日が第1回ですから、第2回までに我々がやることというのは、アンケート（案）についての意見があれば1週間以内8月10日までに館に連絡をすることですね。

○中村委員

このアンケートは、香川公民館に関わっている目線でお答えすればよろしいのですか。推進協の資料作成で印刷をさせてもらうくらいなのですが、コロナ禍で実質活動を休止している状態ですので、活動していた当時の感覚でお答えすればよろしいでしょうか。

○事務局

ここには、4月1日現在でと記載させていただいておりますが、それで構いません。

○佐藤委員

香川公民館で活動しているサークルに対して、こういった視点でよいかどうかを見ていただくということで。

○中村委員

分かりました。

○真鍋委員

アンケート（案）についてですが、私はサークル活動に参加していませんので、このままで結構です。

○澤崎委員

アンケートの3ページですけれども、問10の次が問9に戻ってしまっていますが、これは問11でよろしいですね。

○事務局

はい、申し訳ありません。ケアレスミスです。設問の最後は16になります。

○澤崎委員

定期的に月1で利用しているサークルで利用者懇談会に加入していないケースがあるようですが、それはいかがなものかと思えますよね。年に1回しか利用しないところは別として。是非このアンケートに、利用者懇談会に加入しているか、加入していないか、それと加入していない理由を書いていただく。利用者懇談会の高齢化が進んでいる中で新しい若い方が加入された方が良いと思います。

○佐藤委員

利用者懇談会の役員会においても、その話は出たんです。結局未加入のところあまりにも多いと。役員で手分けをして話をしましょうよと。そこまで話は出たんですが、実際は動いていないです。団体として登録されたときに、利用者懇談会への加入についてもお話をさせていただいていると思えますが、なかなか結び付かない現状のようです。自治会のようなもので、自治会ですと地域の目もありますので加入しますが、利用者懇談会は負担の方が大きいと感じてしまう、社会の一員であることを忘れてしまうのでしょうか。任意のもので、強制はできない難しい部分があります。このアンケートを未加入の団体にも配付するのでしたら、この設問も表現は難しいですけれども、入れていただきたいですね。

○事務局

分かりました。加入しているか、加入していないか、加入していない場合はその理由ですね、加えます。

○澤崎委員

その他は、このままでよろしいかと思えます。

○佐藤委員

良かったです。そういったご意見をいただけて。

○澤崎委員

今回、あまりにも未加入の団体が多いので。

○事務局

今後のスケジュールについては、期限も併せて改めて文書でお送りします。年明けの1月中旬に第2回、3月の末に正式な答申でよろしいでしょうか。

○佐藤委員

そんなに遅くて大丈夫ですか。

○事務局

その間に、まとめ方などを会長と副会長にご相談させていただき、間に合うように調整いたします。

○澤崎委員

前は、会長が答申を作ってくださったんですよね。今回は公民館で作成していただけるのですか。

○事務局

基本的には審議会で作成していただきます。事務局もサポートはさせていただきます。アンケートについては、20日の利用調整日にまでに各サークルのフォルダーに入れて、その場でも説明させていただきます。

○佐藤委員

お声がけいただければ、お手伝いしますので。それで、サークルの提出期限はいつまでになりますか。

○事務局

9月末日までです。毎週活動されているサークルもあれば、月1回の活動のところもありますので、長めにとってあります。

○佐藤委員

あまり長いと忘れてしまうんですよね。

○事務局

それでは、1か月として9月20日までにしましょうか。

○佐藤委員

それが良いと思います。内容は難しくないなので、十分だと思います。

提出を忘れていたサークルには、9月の利用調整日に声をかけて提出してもらおうということで。

○事務局

今後の日程調整をまた早目に進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

○佐藤委員

それでは、次に議題の3「その他について」事務局から何かありますか。

○事務局

1点事務連絡がございます。市内5館で構成する公民館運営審議会委員連絡協議会を通常年2回開催しています。審議する内容は、予算や事業報告です。あとは研修会ですね、本来であれば幹事が集まって研修会の企画するのですが、令和2年度、令和3年度は行っておりませんが、今年度の当番館が南湖公民館でして研修会の開催予定について、連絡がありました。日程候補日として11月22日(火)10時~12時、場所は南湖公民館講義室で調整しております。内容は、講演「地域社会教育と公民館」というテーマで講師は前教育長の神原聡さんを予定しております。正式に決定いたしましたら後日、開催通知を送ら

させていただきますので、予定をしておいていただきたいと思います。

○澤崎委員

本来は、私が一緒に企画・運営をしなければいけなかったのですか。今回は、参加するだけでよろしいのでしょうか。

○事務局

今回は、南湖公民館が動いていて特に要請がきていないので、都合をつけて参加していただくだけで良いと思います。令和元年度の研修も神原さんをお迎えして、うみかぜテラスで行いました。神原さんは、レッツトライボランティアでもご協力いただいています。

事務局からは以上です。

○佐藤委員

その他に何かございますか。ないようであれば、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。本日は長時間にわたりお疲れさまでした。

○事務局

長時間にわたり、ありがとうございました。